

2022年度 事業報告



社会福祉法人

浜松いのちの電話

目次

巻頭 人生の転機と心の「癒やし」 理事長 福永 博文	1
2022年電話相談統計報告	3
2022年度事業報告	5
2022年度会計報告	7
2023年度事業計画	9
2022年度ご協力者	11
2023年度役員	14

浜松いのちの電話

ひとりで悩まないで、話してみない？

相談電話 **053-473-6222**

年中無休。匿名でお話しができます。
相談内容のプライバシーは守られます。

自殺予防 いのちの電話 フリーダイヤル

0120-783-556 (ナヤミ・ココロ)

毎月10日8:00～翌日8:00(24時間)

毎日フリーダイヤル(叶禍を乗り越えるために)

0120-783-556 (ナヤミ・ココロ)

毎日10:00～22:00

7ダイヤル **0570-783-556** (ナヤミ・ココロ)

毎日10:00～22:00(通話料がかかります)

通話可能なセンターに順次おつながします。

LINHA DA VIDA HAMAMATSU

ポルトガル語相談 **0120-428-333**

// (WhatsApp) **080-3068-0333**

毎週金曜日 19:30～21:30

インターネット相談を実施中です。



日本いのちの電話連盟の【ホームページ】
からログイン登録をしてください。
相談内容のプライバシーは守られます。

夏休み 中高生専用フリーダイヤルを開設します

0120-783-107 (静岡県内)

開設期間 8月26日(土)～9月4日(月)

13:00～22:00

人生の転機と心の「癒やし」

浜松いのちの電話

理事長 福永 博文

人の一生は、さまざまな転機に遭遇することがあります。人生は、転機の連続であるかも知れません。その影響は、今を生きる心の支えになったり、生涯に亘る人生の目標や生きがいになったりすることもあります。

また、その転機が、現在の生活を不安と混乱に陥らせたり、将来の生きる目標や希望などを喪失させたりすることもあります。

対面や電話等による臨床場面では、後者の場合が多い傾向にあります。

人は、予期しない転機に直面すると、心身の変調を来し、戸惑い、絶望感・孤独感・無力感そして喪失感に襲われ、人によっては自責の念に苛まれたり、生きる意味を失ったりすることがあります。

スイス出身の精神科医 E. キューブラー・ロスは、「苦難こそが成長するための機会です」「苦難や病氣、喪失に立ち向かうからこそ、あなたは成長するのです」と語っています。

ウィーン出身の精神科医 V.E. フランクルは、アウシュビッツ強制収容所で「収容所から逃げ出さずに耐える」とき「意味ある人生を送ることができる」と、後年、その著書で述懐しています。

この二人に共通していることは、人は苦難を経験し、それを克服することによって新たな人生が開かれてくると理解することが出来ると思うのです。

では、この長期に亘ると思われる苦難や対象喪失を如何にして耐え、克服すれば良いのでしょうか。

立川昭二は「痛みや悲しみを時間をかけて耐え、それを共有してきた者同士が無意識に融けあったとき、はじめて癒やし癒やされるのである」と述べています。

1997年2月－3月にかけて、神戸市で発生した児童殺傷事件で犠牲となった土師淳さんの父親が、後年「兵庫県警の警察官による長男への気遣いや妻の買い物への同行、そして警察官の勧めによる犬の飼育が家族の癒やしになった」と語ったことが印象に残っています。即ち、「癒やし」という言葉です。

重大な事件の被害者支援においては、医学的治療は必要です。しかし、一方、日常生活における支援として「癒やし」も重要です。土師淳さんの父親の言葉にあった「癒やし」は、私たちに重要な「支援の在り方」を提示してくれているといえます。

イギリスの精神科医 C.M. パークスは「近親者や友人が死別者の役割と責任の多くを代行し、死別者が自由に嘆き悲しめるようにする必要がある。この時に役に立つ人とは、悲しみを共感する人ではなく、そばを離れずに日常の家事を何も言わずにこなして、死別者に指示などを与えない人です」と述べています。

以上のような研究結果からみても、神戸市の児童殺傷事件の被害者の支援に関わった兵庫県警の警察官は、「すぐれて専門性を持った人」といえると思うのです。電話相談は一回性で終了する場合もあるし、不定期に継続する場合があります。また、匿名性から継続した「癒やし」は困難かも知れません。

しかし、私たちは、目の前の人や電話の向こうにいる人の苦悩を保障し、現実の生活を支援する「癒やし」について、改めて再考したいと思うのです。

特に、電話相談では、対面による相談より重篤な相談も多い傾向にあります。電話をかけてくる人にとって、「電話をして良かった」と思われる「浜松いのちの電話」になるよう、今一度、多くの研究結果やその応用について、具体的に考えたいと思います。

2022年 電話相談統計報告

2022年の相談件数は9,693件(前年10,356件)と再び1万件を割り込み、コロナ前の約80%の稼働水準に止まりました。コロナ禍の長期化により、今まで皆無であった相談員本人やご家族の感染例が増え、電話相談活動を一時縮小せざるを得ない状況が発生したことが大きく影響しました。

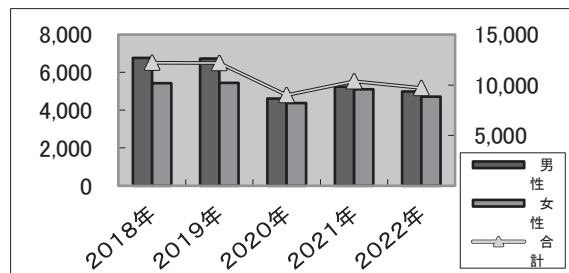
しかし、2023年に入り、浜松市の感染者数が落ち着きを取り戻すにつれ、私たちの活動状況も日に日に通常のものに回復しつつあります。

1. 受信体制

- (1) 相談員在籍者数 150名 (2) 相談員実働数 122名
 (3) 相談電話数 2台 フリーダイヤル専用 1台
 (4) 受信時間
 日～火曜・祝日 10:00～22:00 水～土 10:00～24:00
 毎月第2・4土曜日 10:00～翌朝10:00 24時間
 ☆ナビダイヤル 全国の(回線が空いている)「いのちの電話」につながる
 ☆行政からの受託事業等
 毎月10日 10:00～24:00 (全国一斉フリーダイヤル・自殺予防)
 毎日16:00～19:00 (全国一斉フリーダイヤル・コロナ禍の電話相談)
 静岡県「こころの電話」の夜間、休日転送分の受信(県委託事業・毎日)

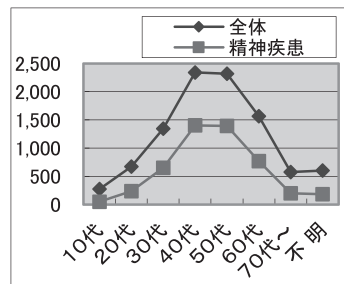
2. 受信件数5年間の推移

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
男性	6,770	6,730	4,621	5,243	4,985
女性	5,430	5,436	4,369	5,113	4,708
合計	12,200	12,166	8,990	10,356	9,693



3. 年代別受信件数 & 精神疾患

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	合計
全体	273	671	1,346	2,343	2,317	1,567	574	602	9,693
精神疾患	51	238	652	1,403	1,396	770	198	183	4,891
%	19	35	48	60	60	49	34	30	50



男女とも働き盛りの年代からの相談が多い。通院しながら勤務している人、失職中の人、また休職中で復職か退職かで悩んでいる人も多い。

長期療養中で、独居・無職(障害年金・生活保護を受給中)の孤独な生活から抜け出せない現実が伝わってくる。

4. 主な相談内容

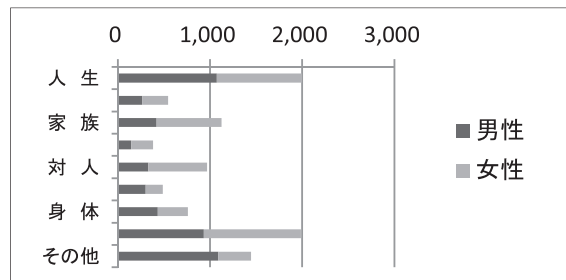
内容分類	合計	男性	女性
人生	1,997	1,072	925
職業	544	262	282
家族	1,124	420	704
夫婦	382	145	237
対人	969	332	637
男女	487	302	185
身体	761	432	329
精神	1,985	932	1,053
その他	1,444	1,088	356
合計	9,693	4,985	4,708

精神…
通院歴が長く、将来に希望が持てないと訴える。周囲の理解もないという。

人生…
年代を問わず「孤独、さびしい、話をしたい」と何度も悲観的な言葉を並べる。

家族…
親子・両親・兄弟など親族関係の問題、介護、相続など、その確執は深刻で、理解してもらえないと話す。

その他…
性的描写で、受け手の反応を楽しんでいる内容も多い。いたずらや攻撃型の電話もある。



5. 自殺傾向の相談

「何もしたくない、できない」「将来が不安」「死にたい、死ぬしかない」と訴える。経済的な困窮、健康面・精神面の不安やストレスによる孤立感が背景にある。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男性	17	24	79	177	177	37	16	27	554
女性	5	41	100	117	187	122	61	17	650
合計	22	65	179	294	364	159	77	44	1,204

6. インターネット相談

【厚生労働省自殺防止対策補助事業】として全国展開中

★昨年の受信件数 全国16センター1,579件(前年比△92件、前々年比△434件)とくに10～30代の相談件数が減少している。40代以上の件数は横這い。

- ・全世代女性比率 57% ・10～30代の女性比率 68%
- ・相談項目では、人生23%、保健医療22%、家庭・親族18%、職場・学区14%
- ・自殺傾向(念慮・危険・予告)…39%(2019年の55%以降減少推移)

コロナ禍の失業や就職難で、10～30代の相談の比率が高かったが、徐々に落ち着きを取り戻しつつあると思われる。しかし、10代では進路・虐待・不登校・いじめ、20代では精神疾患等の保健医療、30代では経済困窮・家族・就労に関する悩みが多く寄せられている。相談員は、相談1件ごとに十分に時間をかけて、相談者に寄り添い、少しでも希望が持てるように返信メッセージを作成している。また、自殺傾向の相談に対しては優先対応し、未遂歴のあるメッセージにはとくに手厚いケアを行っている。

2022年度事業報告

開局 36 年目にあたる 2022 年度も多くの皆様の善意とご協力により、浜松いのちの電話の活動が支えられたことに改めて深く感謝いたします。

コロナ禍の長期化と拡大により、2022 年度の浜松いのちの電話の活動も影響を受け続けました。

今まで皆無であった相談員本人やご家族の感染事例が増え、電話相談業務を一時縮小せざるを得ない状況も発生しました。2021 年に 10,356 件まで回復した受信件数は、2022 年は 9,693 件と再び 1 万件を割り込み、約 80% の稼働水準に止まりました。相談内容の内訳は、精神の疾患に係る相談が 4,891 件 (全体の 50%)、自殺傾向の相談が、1,204 件 (同 12%) と依然、個人を取り巻く厳しい状況が続いています。

1. 相談員の認定
 - ・ 2022 年 11 月に第 36 期生 8 名を電話相談員に認定
2. 相談員の養成
 - ・ 第 38 期生応募 9 名が基礎研修受講中
 - ・ 第 37 期生 17 名のインターン研修を実施中
3. 相談員の研修
 - ・ 継続研修、自己啓発研修の実施 (一部リモートで実施)
 - ・ 相談員全体研修会・宿泊研修等の集中研修を回数や参加人員を絞込みながら再開した。
4. 研修スタッフ研修
 - ・ 養成研修に 7 名応募、静岡いのちの電話との合同研修会を開催
 - ・ 隔月の課題実習、3 か月毎のワンデー研修を実施
5. 相談活動の充実・環境整備
 - ・ 若者からの相談受信体制の整備
夏季中高生フリーダイヤルを開設 (8/27 ~ 9/5)
県西部の公立中高生 86 校へ電話カード 44 千枚を配付
 - ・ インターネット相談 18 名体制で実施、さらに拡充 SV、OJT 研修の実施、委員会組織整備
6. 外国語 (ポルトガル語) 電話相談
 - ・ 毎週金曜日 19:30 ~ 21:30
 - ・ 実働相談員 4 名で担当、受信件数 14 件
フリーダイヤル受信を開始したが、低位の受信件数が続いている。外国語市民学校や施設への広報、行政機関へチラシ配付を継続している。

7. 広報活動
 - ・ 外部報の発行 (年 2 回)
(7 月号) コラム「成長への気づき」他
伊藤真一氏他
(12 月号)「心の裏にも耳を傾ける」他
岡田光夫氏他
 - ・ ホームページの充実
8. 事業活動
 - ・ 納涼チャリティ寄席を再開 (8 月 20 日)
滝川鯉昇師匠、入船亭扇遊師匠
 - ・ チャリティ映画会 8Weeks
9 月 30 日 ~ 11 月 24 日 於 シネマイーラ
9. 地域とのつながり
 - ・ 学校研修への協力
浜松市医師会看護高等専修学校 4 回
 - ・ 浜松市精神保健福祉センターのラジオ番組「いのちをつなぐ手紙」への参加 (毎月)
 - ・ 浜松市自殺対策啓発イベントへの協力 (3 月)
 - ・ 行政活動・NPO 法人活動への参加
県自殺対策連絡協議会、浜松市自殺対策連携会議、
県犯罪被害者支援会議等へ参加
 - ・ 市民公開講演会は開催中止
10. フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」に参加
11. コロナ禍対策「毎日フリーダイヤル」に参加
12. 共同募金会「課題解決プロジェクト募金」に参加
13. 「イオン黄色いレシートキャンペーン」に参加



静岡県共同募金会様より貴重な助成金をいただきました。厚く御礼を申し上げます。
団体運営がより一層充実するように大切に活用させていただきます。

2022年度会計報告

事業活動収支計算書

(自)2022年4月1日 (至)2023年3月31日 (単位:円)

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収益	会費収益	1,876,850	1,688,251	188,599
		電話相談事業収益	8,780,349	8,708,874	71,475
		経常経費寄付金収益	2,792,095	1,929,348	862,747
		その他の収益	14,774	16,600	△ 1,826
		サービス活動収益計	13,464,068	12,343,073	1,120,995
	費用	人件費	1,908,700	1,737,825	170,875
		事業費	6,642,564	4,843,437	1,799,127
		事務費	4,835,853	4,770,575	65,278
		減価償却費	706,196	563,112	143,084
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 284,941	△ 193,666	△ 91,275
サービス活動費用計		13,808,372	11,721,283	2,087,089	
サービス活動増減差額		△ 344,304	621,790	△ 966,094	
サービス活動外の部	収益	受取利息配当金	405	558	△ 153
		サービス活動外収益計	405	558	△ 153
	費用	支払利息	0	0	0
		サービス活動外費用計	0	0	0
	サービス活動外増減差額		405	558	△ 153
経常増減差額		△ 343,899	622,348	△ 966,247	
特別増減の部	収益	設備整備等補助金収益	0	2,170,136	△ 2,170,136
		特別収益計	0	2,170,136	△ 2,170,136
	費用	固定資産処分損	0	3	△ 3
		国庫補助金等積立金積立額	0	1,228,136	△ 1,228,136
		特別費用計	0	1,228,139	△ 1,228,139
当期活動増減差額		△ 343,899	1,564,345	△ 1,908,244	
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額		15,322,852	13,758,507	1,564,345
	当期末繰越活動増減差額		14,978,953	15,322,852	△ 343,899
	次期繰越活動増減差額		14,978,953	15,322,852	△ 343,899

貸借対照表 2023年3月31日(単位:円)

資産の部			負債の部		
科 目	当年度末	対前年度末	科 目	当年度末	対前年度末
【流動資産】	12,434,166	△ 174,056	【流動負債】	0	△ 251,412
現金預金	12,240,568	△ 198,936	借入金	0	0
貯蔵品	193,598	24,880	事業未払金	0	△ 251,412
		0	仮受金	0	0
		0	預り金	0	0
【固定資産】	25,146,050	△ 706,196	【固定負債】	0	0
【基本財産】	21,700,000	0	負債の部合計	0	△ 251,412
定期預金	21,700,000	0	純資産の部		
【その他固定資産】	3,446,050	△ 706,196	【基本金】	21,700,000	0
建物付属設備	1,517,500	△ 179,204	【その他の積立金】	901,263	△ 284,941
器具及び備品	1,618,550	△ 526,992	基金積立金	0	0
権利(電話加入権)	10,000	0	国庫補助金等特別積立金	901,263	△ 284,941
基金積立資産(定期預金)	0	0	【次期繰越活動増減差額】	14,978,953	△ 343,899
差入保証金(敷金)	300,000	0	(うち当期活動増減差額)	(△343,899)	
		0	純資産の部合計	37,580,216	△ 628,840
資産の部合計	37,580,216	△ 880,252	負債及び純資産の部合計	37,580,216	△ 880,252

(注)減価償却累計額 4,143,209円

財産目録 2023年3月31日(単位:円)

		内訳	金額	金額
資産の部	流動資産	現金預金	12,240,568	
		貯蔵品(切手)	193,598	
		流動資産合計		12,434,166
	固定資産	基本財産(定期預金)	21,700,000	
		基本財産合計		21,700,000
		建物付属設備	1,517,500	
		器具及び備品	1,618,550	
		電話加入権	10,000	
	その他の固定資産	差入敷金	300,000	
		その他の固定資産合計		3,446,050
資産合計			37,580,216	
負債の部	流動負債		0	
	固定負債		0	
	負債合計		0	
差引純資産				37,580,216

上記の会計監査の結果適正であることを認めます。

2023年5月24日 監事 鈴木 勲・久留島 勝則

2023年度事業計画

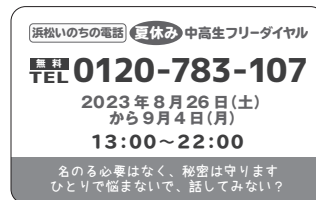
2023年度は、5月から新型コロナが「5類感染症」に引き下げられました。3年間続いた自粛期間から2019年以前の受信体制にいかに対応させるか、時代の大きな変化にいかに対応していくか、真摯に取り組んで参りたいと思っております。

2022年は、全国で21,584名(昨年比+577名)、静岡県で649名(+66名)の自殺者が発生しました。また、小学生～高校生の若者の自殺も全国で441名と様々な取り組みにもかかわらず、残念ながら横這いの状況が続いています。

浜松いのちの電話は、2023年度においても、一段と緊張感をもって、多くの相談者の心に沿った、適切で誠実な電話相談に取り組んでまいります。

1. 第39期生養成講座
 - ・目標20名 受講生募集開始2023年11月
 - ・開講2024年4月 研修期間1年半
2. 相談員の養成
 - ・第38期生9名 基礎研修・インターン研修
 - ・第37期生14名 インターン研修 10月認定予定
3. 相談員の研修
 - ・継続研修、自己啓発研修の実施
 - ・相談員全体研修会
(危機介入研修、青少年の理解と対応他)
 - ・インターネット相談員研修
(スーパーバイズ研修、定例会開催他)
4. 研修スタッフ養成研修
 - ・応募者7名、期間3年の養成研修を実施中
5. 外国語(ポルトガル語)電話相談
 - ・相談員4名、フリーダイヤルで対応中
 - ・低位な相談件数が課題、広報活動注力
(外国人市民への広報、情報誌への広告等実施)
6. 相談活動の充実
 - ・若者の自殺防止への対応
インターネット相談の充実
夏季中学生フリーダイヤルの開設、学生カードの配布
 - ・受信活動に専念できる環境づくり
7. 財政の安定化
 - ・資金ボランティアの開拓
 - ・関係機関からの補助金、助成金の申請と確保
 - ・共同募金会「課題解決プロジェクト募金」に参加
8. 広報活動の推進
 - ・ホームページの充実
 - ・報道機関等への積極的な情報提供
 - ・外部報(年2回)、内部報(年6回)の発行
9. フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
(毎月10日、10時～24時)に参加
10. コロナ対策「毎日フリーダイヤル」に参加
毎日16時～19時の時間帯で参加
11. 地域とのつながり
 - ・地域の「傾聴ボランティア養成研修」に講師派遣
 - ・「納涼チャリティ寄席」の開催
7月8日(土)浜松市福祉交流センター
 - ・「チャリティ映画会」の開催
9月29日～11月30日(予定)シネマイエラ
12. 関係機関・団体との連携・協力
 - ・日本いのちの電話連盟
 - ・静岡県
 - ・浜松市
 - ・浜松市精神保健福祉センター
 - ・浜松市国際交流協会
 - ・浜松市社会福祉協議会
 - ・静岡県共同募金会
 - ・日本財団
 - ・静岡県電話相談機関連絡協議会 他

【県内西部の中高生に電話カードを配布しています】



浜松いのちの電話では、毎年「夏休み」に県内西部の中高生を対象に電話カードを配布して、フリーダイヤル電話相談を行っています。この電話カードの作成費用に「赤い羽根課題解決プロジェクト募金」にご寄付いただいた支援金を活用させていただいています。

あたたかいご支援・ご協力ありがとうございました
2022年度(2022.4～2023.3)敬称略

★会費・寄付【個人】

浅井 昭裕 天城 芳子 天野富士子 天野 光江 新井 友子
荒金 知子 池田 佳世 池元 朋子 石川 道子 石川縫三郎
石澤 章二 磯部 幸恵 伊藤 哲夫 伊藤 頼子 伊藤 力示
今村 順子 大澤ゆかり 太田 薫 大場 義貴 大森 幸恵
岡崎 一雄 岡本 肇 小栗 恭子 長田恵美子 小澤さくよ
落合 悦子 笠原 桂子 梶 富美子 梶浦由美子 片瀬 文範
片瀬 靖子 片橋 清枝 片山 明子 加藤 敏行 神谷 礼子
川合喜實子 河合 利行 河合 智矢 河合ゆかり 川畑 生日
川俣真理子 鬼頭 秀行 桐谷 啓子 工藤 通子 栗田 愛子
栗山 節夫 久米 光子 倉田 和恵 小嶋 利明 小林 眞
小林 光世 西條 晃代 酒井二三子 佐藤 和彦 佐藤きみ子
佐藤 三郎 佐野 康代 鮫島 道和 志賀 訓子 柴田 睦子
末松 渉 杉田 朋子 杉田 正明 杉本 節子 杉山 英子
鈴木 新 鈴木 一夫 鈴木 啓一 鈴木 順子 鈴木 辰幸
鈴木登紀子 鈴木美奈子 曾布川能康 田内 浩之 高木 万枝
高橋 廣子 高林 真子 高平 啓子 竹内 祐子 竹下美智子
田中やす子 土屋みち子 堤 ふみ子 津幡 佳伸 寺田佐千代
遠山千代子 長沢 敦子 中根 忠志 中根みづほ 中原はるよ
仲村 重子 中村 修三 中村 弘江 中村 道子 中村美保子
中村由紀子 名倉 恒夫 成田喜代司 西田 文代 西村 俊子
忍頂寺千恵子 野澤 薫 野島 敦子 野島三重子 野藤 弘幸
袴田 修司 袴田 純 萩田 妙子 初瀬 正幸 花川 洋子
林 豊子 原 節子 原田 正司 原田 茂里 原田 貴之
原田美根子 平出 茂樹 福永 博文 福家 公子 藤崎 保子

※掲載いたしました個人名につきましては、個人情報保護法
にもとづき責任をもって管理いたします。

掲載を希望されない方は、ご面倒ですが事務局までご連絡
くださいますようお願いいたします。

★会費・寄付【個人】前頁から続く

藤本 正勝 フジモリコウジ 古川 道子 古橋 克己 古橋ふさ子
古橋 光子 堀江ひろみ 本城かほる 本間恵美子 前川 幹恵
前田由里子 増田 辰男 松尾 哲道 松竹八重子 松永 正之
松原 裕江 丸山 信子 三浦佐津子 溝口賢一郎 宮澤 和代
宮本千賀子 村瀬 静子 村田美津子 村松 真弓 森永美智子
宮谷 恵 宮谷百合子 柳原 とも 矢野 善幸 山内由美子
山田 啓子 山田 孝代 山本 章子 山本 健司 山本 周子
山本 敏博 油井理枝子 横田美佐江 吉田 恵子 力武由紀子
割鞆健太郎
匿名6名様

浜松いのちの電話をご支援ください

いのちの電話の活動は、多くの無償ボランティアによって継続
しています。皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。

【振込先】

郵便振替 00800-2-53944

加入者名 社会福祉法人 浜松いのちの電話

郵便振替手数料は無料(当法人負担)です。

浜松いのちの電話は税額控除の指定を受けている社会福祉
法人です。ご寄付は税法上の優遇措置がございます。

あたたかいご支援・ご協力ありがとうございました
2022年度(2022.4～2023.3)敬称略

★会費・寄付【法人・団体】

エーデルワイスの会 遠州栄光教会住吉婦人会
遠州栄光教会ディアコニア部 オーム電機㈱
大庭歯科医院 生命保険協会静岡県協会 聖隷福祉事業団
聖隷こども園こうのとり東保育園 小さな親切運動静岡県本部
天星製油㈱ 日本基督教団浜松教会
日本基督教団浜松元城教会こどもの礼拝
日本基督教団中遠教会 日本基督教団掛川教会
浜松青年会議所 浜松ロータリークラブ
浜松北ロータリークラブ 浜松ひかりライオンズクラブ
藤井マタニティクリニック 毎日企業㈱
松城幼稚園ぶどうの会

★赤い羽根「課題解決プロジェクト基金」に
ご協力ありがとうございました。

【個人】

大澤ゆかり 川合 高志 河村 敏明 齋藤みよ子 坂西 和恵
佐藤 和彦 佐藤 三郎 鮫島 道和 遠山千代子 永川 淳
袴田 純 袴田 修司 前川 幹恵 牧野 哲郎 松本征四郎
山本 玲子

【団体】

㈲エコワークス
(医) 金指こどもクリニック
(医) くまがいクリニック
静岡県国民健康保険団体連合会
林医院
安川内科クリニック
よつばメンタルクリニック

※ 名簿につきましては、万一誤りや記入漏れがございましたらお詫び申し上げます。その場合はご面倒ですが、事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

★ご協力者

㈲あかまつプラザ36
イオン浜松西店(黄色いレシートキャンペーン)
マックスバリュ浜松住吉店(黄色いレシートキャンペーン)
遠州鉄道㈱(㈱遠鉄ストア 遠州栄光教会住吉
古山清子 シネマイーラ 聖隷福祉事業団 茶ツ葉屋
浜松エフエム放送㈱ 浜松市医師会看護高等専修学校
光タクシー㈱ プラジルふれあい会 森島園製茶
理想科学工業株式会社浜松支店

2023年度理事・監事および評議員名簿
(2023.7.1現在)

理事長	福永 博文		
理事	佐藤 和彦	評議員	磯部 幸恵
	鈴木 清		河合 利行
	津幡 佳伸		小杉 浩造
	袴田 修司		張田 眞
	鮫島 道和(事務局長)		平井 章
監事	鈴木 勲		宮澤 和代
	久留島 勝則		宮谷 恵



社会福祉法人
浜松いのちの電話

〒430-8691 浜松郵便局私書箱125号
発行人 福永 博文
編集事務局 TEL (053) 471-9715
FAX (053) 543-9020